

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・市民生活部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関する主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

施策の評価

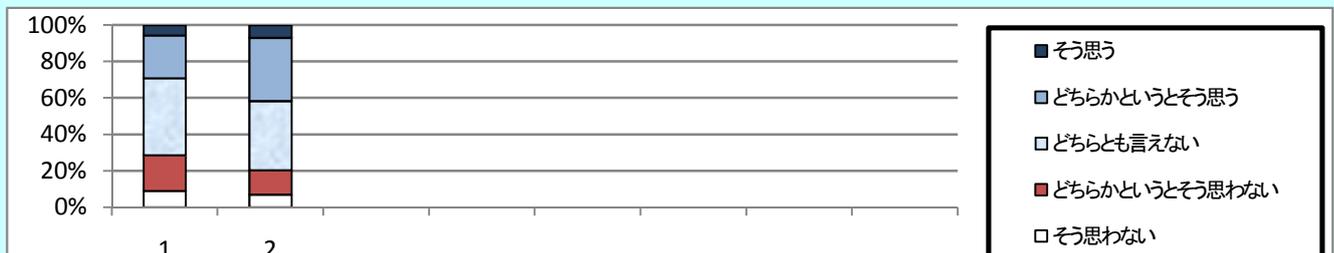
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 交通事故による死者数(人)	-	-	37	40	40人以下	100.0%	a	1.00
2 交通事故による死傷者数(人)	-	-	10,960	11,116	12,000人以下	107.4%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	32 5.6%	135 23.6%	242 42.3%	112 19.6%	51 8.9%	572	c
2 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にらせるまちになっている。	40 6.9%	200 34.7%	219 38.0%	77 13.4%	40 6.9%	576	c
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。						年度	-
(原因分析) ・交通事故発生件数は、過去10年間を見ると、平成13年をピークに減少傾向にあり、客観指標の「交通事故の死者数」、「交通事故による死傷者数」とも若干増加したものの、いずれの指標も目標値は達成できた。 ・一方、いわゆる「体感治安」を示す市民の実感については、自治組織・警察・行政による取組が比較的信頼されているが、市民生活実感総合評価ではc評価となっており、改善の余地がある。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		22年度決算額	23年度予算額		
1	違法駐車等防止対策事業	166,229	119,484	かなり良い	行財政局
2	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	20,627	23,997	かなり悪い	文化市民局
3	防犯推進委員連絡協議会助成	1,718	1,764	良い	文化市民局
4	生活安全条例に基づく施策の推進	27,114	43,072	かなり良い	文化市民局
5	交通安全対策の推進	70,384	78,880	かなり良い	文化市民局
6	地域の安心安全ネットワーク形成事業	61,453	49,838	かなり良い	文化市民局
7	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進	55,865	80,019	かなり悪い	文化市民局
8	犯罪被害者支援策の推進	0	32,146	-	文化市民局
9	次期生活安全基本計画の策定	3,270	-	-	文化市民局
10	北区猿害対策事業	0	4,349	-	区役所
11	山科区獣害対策チームの運営	0	6,753	-	区役所
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・平成23年度から新たに、地域の安心安全ネットの継続的な取組を応援するため、補助金、防犯活動支援物品(防犯用具)の貸出し、NPOなどによる防犯・交通安全出前講座、学生防犯ボランティア・ロックモンキーズとの防犯合同啓発を実施する。
- ・また、京都府警察が設けた学生防犯ボランティア登録制度である、ロックモンキーズの活動に対しても、補助金を支給する制度を新たに創設する。
- ・これらの新たな事業により、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策など、身近な安心・安全の確保のための、市民の自主的な活動を応援する。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進
-----	------	------------------

指標名	交通事故による死者数（人）
-----	---------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	3 6 6 - 1 3 6 6
-----	----------	-----	-----------------

1 指標の説明

交通事故発生から24時間以内の死者数

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	37	40	3人増	40人以下	平成22年の目標値（40人以下）と、平成32年の目標値（25人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		25人以下	32年度		第2次生活安全基本計画

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	交通事故による死傷者数(人)
-----	----------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	3 6 6 - 1 3 6 6
-----	----------	-----	-----------------

1 指標の説明

交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	10,960	11,116	156人増	12,000人以下	平成22年の目標値（12千人以下）と、平成32年の目標値（8,400人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	107.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		8,400人以下	32年度		第2次生活安全基本計画

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

		23
-	-	a